

30周年を迎えました



vol.214

いぶきファミリー  
会報誌

2024  
みのり

(寄付御礼づき)

長野幸子、長澤敦、津田孝行、津田飛鳥、辻加寿美、辻薰、辻本隆太、辻和久、天池有子、天野貴彦、田子みどり、田尻新吾、田代達生、田中一夫、田中幸人、田中沙希子、田中潤美、田中尚樹、田中都、田中望、田島敏彦、田辺和彦、都築秋枝、都留健司、土井昭則、土井正剛、土屋明之、土田賢吾、土田千恵美、土本千枝子、土本裕美、島津智之、東郷俊宏、藤井きよみ、藤井さつき、藤井愛子、藤井慶子、藤井桂、藤井美和、藤掛文子、藤吉光昭、藤吉美恵子、藤原暉、藤谷秀、藤田紀子、藤田好美、藤田敦子、藤田由美子、藤田鈴彦、藤澤亮太、道家由美子、徳岡理子、徳村洋平、特定非営利活動法人まいゆめ、奈須一、内田彩、南輝雄、楠光明、楠二三男、二村菜穂子、日比野勝、日本イベント企画株式会社、馬田泰州、馬渕みち子、馬渕則子、梅田賢一、柏原知恵、白川間弓美、白木一夫、白木寿子、白木仁、白木祐、畠佐良治、八頭司桂子、半澤直子、板倉ゆかり、板東秀行、肥後暁輝、尾角光美、尾間寛之、尾間邦夫、格伸江、百瀬好子、百地丹波のゆきこ、富久田道彦、富田理、富尾泰子、武山詔ハ、武藤加代子、伏屋真由美、服部泰子、服部隆司、福永さおり、平岩あづさ、平子友長、平塚弥生、平田公二、平田富寿子、米田朱見、米島真知子、別府悦子、別府哲、片山保、弁護士法人岐阜合同法律事務所、弁護士法人長良橋通り法律事務所、芳賀不二子、豊泉周治、豊田有希、北川雄史、北川龍、北村祐子、北谷雅春、北洞亜衣里、北洞勝美、北洞由美子、北野真、牧野知佐子、堀井美紀、堀江弘道、堀場真壽美、堀貞子、堀田鴨子、堀登美子、堀部智子、本庄誠一、末永三樹、末次真澄、末次竜也、箕浦秀樹、椋木昭夫、椋梨順子、毛見文枝、木下晴美、木村真樹、木村泰郎、木村智子、木村博、木谷祐子、野極万規子、野原仁、野口大輔、野崎悟、野尻智周、野村久美、野村久美子、野村正樹、野村容子、野田有紀、野々村恵子、野々村照美、野々田知、矢川和弘、矢野純子、柳原美登里、有我延久、有限会社車屋商店、有限会社ハロー産業、有限会社メディカル・アシスト・アイ、袖木正夫、来住美紀、黒見千恵美、立澤加奈子、林亨、林亨一、林光人、林康、林佐妃子、林正治、林泰子、林大介、林敦子、林博也、林美香、林武、林由美、鈴木英夫、鈴木京穂、鈴木正道、鈴木洋、魯菴忍、老田めぐみ、和佐田裕昭、和田岳大、和田義盛、和田昂大、和田瑞恵、和田善行、和田文男、和田邦宏、和田麻弥、和田玲子、鶯見紀代美、國松美代子、廣瀬敏明、朽下春江、櫻井義孝、澤井康夫、澤居小百合、澤村明、澤田薰、澤田由季、澤野由佳、濱上隆道、龍原潤一、鍾谷ひとみ、鍾鍾栄司、松坂和司、霞田美香、齊藤茂行、高園麻子、高崎聖佳、高石浩一、高田京佳、高田利生、高木正一、高木敏治、高木妙子、高木朝義、TRUONGTHIKIMCHI、NPO法人G-net、おおみやしのぶ、アイシーエス姫路市ウエルフェアーブル株式会社、すぎやまえみこ、ニュー銀星床屋、ラッセルジョン、鮎飛真紀、安井章員、安江一成、安江久美子、安江美紀、安田浩幸、安田明美、安田由理、安田和代、安藤英子、安藤美奈子、安藤富子、安藤文子、伊佐地達郎、伊佐地陽子、伊神厚司、伊丹祐子、伊東由利子、伊藤セツ、伊藤一春、伊藤強志、伊藤公夫、伊藤三雄、伊藤慎悟、伊藤拓子、伊藤明、極東サービスエンジニアリング株式会社、ごくみん共済 COOP 岐阜推進本部（10月1日現在 敬称略順不同）

ケアを文化に  
**IBUKI**  
いぶき

夢よ  
もっと  
ひろがれ



## kinpa ginpa 金波・銀波

no.6

はやしもりお

無認可の共同作業所時代から、いぶきで働いていました。  
【金波銀波】は、高校時代、学校新聞に書いていたコラムの名称です。いぶきの行く先が、種やかな航海であるように折りを込めて!

編集委員  
です

わたしたちがつくっています



夢よもっとひろがれ vol.214 みのり

2024年10月発行

発行・編集:社会福祉法人いぶき福祉会

〒502-0907 岐阜市島新町5番9号

TEL: 058-233-7445

メール: ibuki.m@ibuki-komado.com

法人サイト: https://ibuki-komado.com



Illustration by  
Tatsuya Suenami



## もくじ

- p3 はじめに
- p4-6 仲間のすがた
- p7 連載: 恩田聖敬が愛を語る
- p8-9 わたしと息子といぶきと
- p10-11 いぶきのものづくりストーリー  
「招き猫マドレーヌ」の物語
- p12-13 活動報告: 30周年記念事業「つどい」
- p14-15 お知らせ・寄付御礼
- p16 寄付御礼・金波銀波

 紙面のチ、みんなのスペース『ひちっこメンバーズ』は、  
読者の皆さまよりいただいた投稿を掲載しています。  
★投稿は裏面のQRコードよりお待ちしております♪

## 作者の紹介

夢よ  
もっと  
ひろがれ

表紙の  
タイトル  
白木祐さん



表紙の  
イラスト  
末次竜也  
さん

2024年7月に、いぶき福祉会設立30周年記念事業をひとまず無事に開催することができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。式典での未来の道標のスピーチは、法人登記前夜1994年7月7日午後8時から開催された第1回理事会の議事録原本の紹介から始まりました。仲間たちが一堂に会した「つどい」では、いぶき30歳を祝うバースデーソングの歌声が響きました。ギャラリーでは昔からいる仲間が職歴の浅い職員に古い写真の説明をし、古くからご支援くださった方たちは同窓会みたいに嬉しそうに肩を叩き合っていました。30年前の第1回いぶきまつりの写真を指さして「これ私です」と教えてくださったりもしました。そのひとつひとつがいぶきのあゆみと未来を彩っていて、感謝と誇りで胸がいっぱいになりました。

会期半ばの閉館間近、ギャラリー展示をじっと眺める女性がおられました。お声かけすると「小学生の娘に障害があって。将来がまったく想像できなくて来てみたんです」と教えてくださいました。「こんな未来もあるから大丈夫ですよ」と、大きな壁を埋め尽くす仲間の写真や映像を指して、一緒に静かに笑えたことが忘れられません。糸賀一雄さんの遺した「この子らを世の光に」という心。いぶきの営みは社会の灯火でありつづけたいと思います。

30周年はまだまだ続きます。皆さんとお話しできるのを楽しみにしています。

法人本部 北川 雄史



北部事業部 浅野裕美

## これからも飛躍していきます



私たちのショップほとりがオープンしました



ジャムを炊き上げています



シンクをきれいに磨きます

牧野さんは2014年にいぶきに入って10年になります。1年目から、アトリエほつのチームでジャムづくりをしています。その当時、ジャムづくりの仲間は牧野さんを含め4名。先輩たちは一回り以上離れているなかでも臆せず仲良くなつてチームの一員となっていました。仕事も初めてなことで緊張していたと思いますが、一生懸命覚えていく姿がみられました。2年目からは仲間8名でジャムづくりがスタートしました。その年から幼馴染の矢川典さんもメンバーに加わりペアでジャムの炊き上げをするようになりました。矢川さんは混ぜる担当、牧野さんは灰汁をとることを担当し、息の合ったコンビネーションでジャムを炊きあげていきます。できあがったジャムは試食をするのですが、牧野さんは食べると「うまっ! サイコー」と抜群のリアクションをします。いぶきではジャムを食べますがなんとお家では一切口にしないとのこと。とても不思議です。

牧野さんは手先が器用で果物の下処理のときには大活躍しています。例えば柑橘だと果肉と薄皮、種に分けていく細か

な作業で繊細さが必要です。細かな作業だと嫌だな、やりたくないなと思ってしまう仲間もいますが、牧野さんにお願いすると「しょうがないなー、がんばるわ!」と言って作業します。包丁を使うことも得意で梨やりんご、いちじくなど丁寧にカットしてくれるのでとても頼りにしています。

ジャム工房の仕事はジャムづくりだけではありません。清掃することも衛生を保つ上で大切なことです。調理器具の拭き上げの後にはいつもシンクの掃除を進んでやる姿がみられます。「シンク掃除、しようか?」と声をかけてくれ、スポンジに洗剤をつけてシンク、排水溝までゴシゴシと洗います。流水で泡を洗い流し、仕上げにタオルで拭きあげピカピカになります。「シンク掃除、ありがとう、助かったよ」と声をかけると毎回「かまへん、かまへん」と満面の笑みでこたえています。シンク掃除が終わった後も職員に「他にやることありませんか?」と声をかけ、時間ギリギリまでしっかりと仕事をがんばろうとしています。

みんなの  
スペース  
メふ  
ンち  
バっ  
ーこ  
ズ



(カワセ/岐阜市) 最近フリズナートレーニングという筋トレの本にはまっていました。筋トレとは言つてもムキ半干になるのではなく動ける体になるという感じの本で毎日少しずつステップアップしていくのが実感できます。



中央が牧野さん、左は岡部さん、右は矢川さん

みんなの  
スペース  
メふ  
ンち  
バっ  
ーこ  
ズ

気楽しく過ごしていける  
10年で  
いいなど改めて思いました。  
10年で  
次に結婚  
10年もきつとあつた  
10年までじょうう。これ  
からも家庭が元

アトリエほっぺの中ではムードメーカーになっている牧野さん。いつも雰囲気を明るく元気にしてくれる存在です。岡部さんはそんな牧野さんが好きなようで牧野さんがふざけてポーズをとっていると岡部さんも真似してやっています。実は、岡部さんは牧野さんが入る前はあまり他の仲間たちと仲良くする姿はみられませんでした。牧野さんと同じチームになってからは積極的に牧野さんと関わるようになりました。岡部さんにこんなことを聞いたことがあります。「ねえ、ねえ、岡部さん、牧野さんの真似ばっかりしているけどどう思っているの?」すると「なんか弟みたい」との答え。「好きなの?」と聞くと少し照れくさそうに「うん」と答えていました。そのやりとりにはっこりしたエピソードです。

今年の7月には日光町の事業所の一部を改装していぶきの新しいショップ『ひとり』がオープンしました。完成をスタッフみんなで楽しみにしていて、プレオープンした時には早速見学に行きました。牧野さんは「スッゲー! ジャムが並んでるー」と感激をしていました。自分たちの

つくる商品が並ぶお店が、またできたことにとても喜びを感じていたようでした。お店では、アトリエほっぺ特製のかき氷やクリームソーダを日替わりで提供しています。かき氷の日には、ほっぺのメンバーもひとりの厨房に入ります。店頭で注文を受けると、お客様が注文表をティクアウトの窓口に持ってきてくださいます。お客様が来られると、緊張してしまう牧野さんですが、少しずつ慣れてきます。かき氷にスプーンを付けてお渡ししたり、番号札の受け渡しをしたりしています。お客様の「おいしかった」という言葉を聞いて嬉しそうな表情をみせています。お客様の生の声を聞けるショップの存在はとても大きいです。ほとりの販売があるときには「かき氷、売ってくるわ」と意欲的に取り組んでいる牧野さん。とても貴重な機会になっています。

これからも、たくさんの人と出会い、成長し充実した日々を過ごしてほしいと思います。牧野さん、これからもアトリエほっぺを明るく盛り上げていってね!



心のバリアフリー  
ナビゲーター  
恩田聖敬が  
**愛を語る!**  
vol.13『信頼』という愛



恩田聖敬(おんださとし)1978年生まれ。岐阜県高富町出身。京都大学大学院航空宇宙工学専攻修了。Jリーグ・FC岐阜の社長に35歳で就任。現場主義を掲げチーム再建に尽力。就任と同時にALS発症、2015年末に辞任。翌年、「ALSでも自分らしく生きる」をモットーに(株)まんまる笑店を設立。講演、研修、執筆等を全国で行う。2018年8月に、気管切開をして人工呼吸器ユーザーとなる。2児の父。2022年日本ALS協会会長就任。



いぶきの利用者と支援者の間にも信頼関係はあると思いますが、そもそも信頼とは何でしょうか?

信頼の定義を私は新卒時代の最初の上司Oさんから学びました。Oさんは非常に怖い上司でした。20年前当時のベンチャー企業なのでハラスマントが当たり前の世界で、相当厳しく絞られました。仕事に対する執着心はOさんから得ました。Oさんは何度も何度も食事に連れて行って貰いましたが、一度も1円も払わせてくれませんでした。

入社3年目、私は本社勤務となっていました。そして年末商戦。私が店舗の助っ人として派遣されたのはOさんが店長の店です。久しぶりの現場。私はかつてOさんの下で培った接客力を爆発させました。かなりの売上を叩き出す私の接客を、Oさんは満足げに眺めていました。

お昼にOさんとラーメン屋に行きました。私はOさんに「今日こそは奢させてください!」と言いました。すると呆れるくらいあっさりと「御馳走になります。」と答えました。食事後Oさんに聞きました。「何で今までお金払わせてくれなかったのですか?」。Oさんは言いました。「俺は信頼してる奴にしか金は出させないんや!」。私は重ねて聞きました。「Oさんの信頼ってどんなことですか?」。この答えが私の信頼の

定義です。Oさんはこう言いました。「裏切られて本望と思える相手かな。」私はこの1,000円にも満たない奢りを人生の誇りに思っています。新卒時代の上司が私を認めてくださったのです。裏切られて本望という高い高いハードルを越えられたのです。考えてみれば裏切られて本望と思える人が何人いるでしょう?人生の豊かさに直結するのは間違いません。裏切られて本望ということは「あなたに任せてダメなら仕方ない、諦めます。」と同義です。そこにあるのはまさしく愛に他ありません。

いかがでしょう?私はこの信頼というものは家族以外には、仕事を通してが最も醸成しやすいと思っています。私は信頼できる支援者がいるから仕事を続けられています。だからこそ仕事を辞められないのです。もっともっと人間性を磨きたいのです。人として成長したいのです。その私にとっての近道はOさんとの原体験の仕事を続けることです。今の時代は仕事が人生の中心ではない方もたくさんいらっしゃると思いますが、裏切られて本望と思わせたら人生の自信になりませんか?少なくとも仕事にはその可能性があります。信頼されてみませんか?最高に気持ちいいですよ!

# ※シリーズ※ わたしと息子といぶきと

いぶきに通う仲間の親さんの手記。わが子の生い立ち、これまでのことを振り返って、エピソードや自身の想いを綴っていただきます。

塩谷 誠(塩谷良輔さん父)

良輔は平成9年7月18日にこの世に生まれました。出産は、頭が出てから肩と両手が交差していた為、なかなか出てこられませんでしたが無事に生まれ体重が3060gでした。出産時に立ち会うことができ、感動した出産で先生からへその緒を切るように言われ手が震えたこと、今でも覚えています。先生からは「良く泣く子だねえ」と言われていました。



3ヶ月の頃。  
それまで顔や頭の湿疹などに悩まされていました。

「良輔」の名前の由来は、優しくて誰からも頼られる人になって欲しいとつけました。それからすくすくと育ち、寝返りもハイハイ、つかまり立ちも2才上の姉より早かったように思います。

ところが、1才の誕生日を過ぎたくらいから今までやっていた「バイバイ」などをやらなくなったり言葉が出てこなくなり、1才半健診頃には砂を口にするようになりました。発達の遅れもあり、2才3ヶ月の時に「広汎性発達障害」と診断されました。私も福祉関係の仕事をしており、聞いたときには納得がいかずそれを受け入れるまで時間がかかり、家族に迷惑をかけたことを今も反省している毎日です。言葉の教室や恵光学園に通い、保育園に3年間通いました。先生方より「良ちゃん」と呼ばれ可愛がってもらいました。この頃は、電車やジブリのビデオが



小学部の頃。  
うんていや鉄棒が好きでよくぶら下がっていました

大好きでよく見ていました。お気に入りのシーンがあると何度も見るため巻き戻しや早送りなどを繰り返したためデッキの中でテープが巻き込んだり操作ボタンが落ちくぼんでしまい使用できなくなつことが多々ありました。

また、ブロックで「赤・青・黄・緑」と横に並べて電車(JR九州のハウステンボス)に見立てて遊んでいました。お風呂やプール、うんていが大好きで、休憩時間になつても入つてみたいとプールサイドで泣き叫び待っていたことがあります。岐阜特別支援学校に入学、小学部・中学部と初めての大きな集団に戸惑う



高等部3年、沖縄に修学旅行に行く前に岐阜駅にて

毎日だったと思いますが、その中で様々な経験を得ることができました。人の出会いも一杯あり、いろいろなところに出かけた際に、いつも声をかけてもらいました。その頃は、信号機が大好きでスクランブル交差点に1時間くらいいたり、あてもなく2時間くらい歩くこともありました。

高等部になり、いよいよ将来のことを考

える3年間になりました。就業体験をしながらいろいろなところに行きましたが、なかなか見合った所がありませんでした。

時間はかかりましたが、特支時代から「仕事のツボ」にはまることで認められてきました。本人が頑張れる場所と思い、いぶきに行くことを決めました。

いぶきに入ってから、しばらく他の仲間や職員と馴染むことができず外で寝そべって過ごしていました。職員さんと話し合いの場を持ちながらどのようにしていくか悩みましたが、本人が役割を持ち認められ褒めることを優先にして行くことで、時間をかけ認められるようになります。徐々に馴染むことができるようになってきて今に至っています。

最後に、良輔が生まれてから今27才に至るまでいぶきを始め様々な方に、良輔も私たちも支えられ経験してきたこと、感謝の気持ちで一杯です。今後私も良輔も老いていくわけですが、良輔が元気に笑顔で見合ったライフスタイルで、より多くの方々から支えられ頑張って生きていって欲しいと願っております。今後とも応援のほどよろしくお願ひします。



岐阜特支での成人を祝う会

みんなの  
スペース  
メふ  
ンち  
バつ  
ー  
ズ

りつき／岐阜市／最近岐阜市に引っ越して来ました。運なる山々、田畠が広がる景色がすぐ傍にあります。低山丘山が好きなので、一つ一つ登っていきたいと思います。

# ねこの約束 「招き猫マドレーヌ」の物語

## 招き猫マドレーヌが“アタリマエ”になるまで

北部事業部 澤井 大輔

招き猫の形をしたマドレーヌ。いぶき福祉社会の定番商品です。「見た目が可愛いよね」「色々な種類があって楽しいよね」など、多くの方から嬉しいお言葉を頂いています。この存在が“当たり前”になるまでの歴史を少し、振り返ってみたいと思います。

招き猫マドレーヌが誕生したのは2007年2月20日。当時、焼き物の街常滑では招き猫で街おこしをするプロジェクトがありました。デザイナーの荒川真由美さんから、常滑では作られなくてお蔵入りになる製菓用のシリコン型があるのだけれど、いぶきでやってみない?と声をかけていただいたのがきっかけでした。いぶきで作っていた飛騨バターを使用したこだわりのパウンドケーキのノウハウを活かして挑戦することにしました。しかし、この決断から大変な時間と労力が必要になります。着色料や保存料は一切使用せず8色それぞれにご利益のある招き猫を作ることを目標にしたため



製造風景

です。さらに、招き猫の形をした型は非常に複雑で、生地がきれいに入らない、焼き色のムラがひどい、型から外す時に耳が折れてしまうなど、悪戦苦闘する日々が続きました。始めて納得したマドレーヌが焼きあがった時の喜びは今もはっきりと覚えています。



初めて作った招き猫マドレーヌが立った瞬間

完成した招き猫マドレーヌの人気は凄まじかったです。きょうされんコンペで金賞、楽天マドレーヌランキングで1位、雑誌に取り上げられるなど工房が急激に活発となると同時にキャバオーバーになりました。当時、利用者4名職員2名の第二いぶきの小さな工房では製造数に限りがあったのです。高まる期待と注文に答えられなくなるため、やむなく製造をいぶきの工房に移すことになりました。これがまた悪戦苦闘する日々の始まりでした。同レシピで製造しても同じように焼けないので、オープンには癖があると言われています。焼き時間、温度

可愛いだけじゃない、美味しいだけじゃない、素材にこだわった招き猫の形のマドレーヌ『ねこの約束』。岐阜県産小麦と厳選素材を使い焼き上げる定番8種（チョコ・レモン・ミルク・抹茶・きな粉・フランボワーズ・ブルーベリー・野菜フルーツ）のほか、季節限定のスペシャルバージョンも合わせ20種類以上。定番8種類にはそれぞれ色に合わせたご利益があり、選ぶ楽しさもあります。



の調整、生地の作り方、そのトライ回数は100回以上。妥協をしなかった結果でした。最初のトライから8ヵ月目、ようやく納得することができました。これが第二の誕生だと私は思っています。以前は仲間たち一人ひとりには専用のフレーバーが割り当てられていました。チョコレート味を担当する人、レモン味を担当する人など。見学に来られる人に「チョコレートは僕が作ったよ、美味しいでしょ」と嬉しそうに話す姿がありました。その表情は生き生きとしており、とても誇らしげでした。技術が上がると自信にもつながり、届ける人がいることの喜びは大きいものでした。

「ねこの約束」という名は、この招き猫たちが約束を守ってくれるといいよねという思いを込め、2010年にオープンした直営店にもこの名前を付けました。期間限定マドレーヌも製造するようになり、春のヨモギ、冬のシュトーレンなど、その時期を楽しみにしてくれるファンも



オープン当時のショップ「ねこの約束」

広がってきました。「マドレーヌ美味しかったよー」の声に仲間が照れ臭そうに笑う表情が見ていてとても嬉しいです。招き猫は、私たちにたくさんの人と繋がる喜びと『自信と誇り』を与えてくれました。中でも、影響が大きかったのがFC岐阜のホームゲームの時に、勝利とお客様を招こうと、選手や関係者へのプレゼントをすることでした。はじめの誕生に関わった第二いぶきの工房のメンバーが直接お届けして、10年以上、その数は1万個以上となりました。



2019年招き猫マドレーヌ贈呈式

ここまで続けてくる中で、様々な壁がありました。その都度、仲間と協力しながら努力と工夫、試行錯誤を繰り返しながら“アタリマエ”を守り続けてきました。これからもさらに10年、ずっと愛される招き猫マドレーヌになって欲しいと願いつつ、仲間も職員も一緒にになって大切に焼き続けています。

## いぶき福祉会創立30周年記念事業「つどい」

2024年7月5日から10日まで、岐阜メディアコスモスで開催した30周年記念事業。その初日には「つどい」として、仲間全員が7つのグループにわかつて「おどり」「みらい」「くらし」「しごと」「ありがとう」のテーマで発表し、仲間の願いやおもいを共有しました。仲間の一つひとつの発表には感謝と希望があふれ、未来へ思いをつなぐ感動的なひとときとなりました。



みんなのスペース メふんちバツーズ

しごと

### 仕事自慢できました

北部事業部  
古川 祐多

発表に向けて各部屋でどんな発表をするのか職員で話しました。仲間たちがそれぞれどんな仕事をしていて、一人ひとり得意なことやがんばっていることを話し盛り上りました。中でも、こらぼの紙漉きの仕事で「困ったときに助けてくれるね、右手で何でもこなす職人だね」と大竹さんの話題になりました。そんな大竹さんに舞台で発表しないかと相談すると「がんばる」とこえてくれました。当日は、緊張しながらもしっかりと発表することができ「パッチャリだったね」と伝えると笑顔になり、達成感を感じられた瞬間でした。また、グループごとの仕事自慢を発表することができました。



ありがとう

### 『ありがとね』を伝え合うこと

西部事業部  
辻本 隆太

この節目にあらためて身近な人たちと感謝の気持ちを伝え合いたいと考えました。ちょうど七夕の時期ということもあり『ありがとねの短冊』に思いをしたためることにしました。一緒に働く仲間、保護者さん、家族、今はもう会えない故人、会場で参加者に書いていただいたものも含めて336枚もの『ありがとね』が集まりました。この中から31のエピソードをステージで発表しました。天国のお母さんへ涙ながらに思いを伝える佐藤さんの姿に、私たちは生涯をともにしているのだなあと、あらためて思いました。大切なことに心を向けられるいい時間になりました。ご協力いただいたみなさま「ありがとね」



みらい

### 未来の抱負が実現できますように

北部事業部  
矢島 大

未来をテーマにアトリエ、こらぼ、いろどり、にじの仲間たちで発表をしました。準備では「緊張するね!」「しっかり話せるかな?」と不安な様子がみられましたが、練習を重ねるたびに、落ち着いた様子で取り組むことができました。当日スクリーンに映す仲間の素敵な写真をみんなで見て「いい写真だね!」と話していました。発表中は練習通り堂々とした表情で発表することができました。仲間一人ひとりの未来に向けた抱負が実現できるように仕事や活動、日々充実した生活をともに過ごしていきたいです。



くらし

### これからもこの先も

北部事業部  
山口 泰代

パストラルいぶきに入居している仲間たちが集まりました。ホームでの暮らしの様子をインタビュー。岩田さんからは誕生日をカードでお祝いしはじめたこと、前川さんからは部屋のカレンダーに帰省予定を書き込んで楽しみにしていることなどの話がありました。仲間は別のホームの様子を聞いて、自分とは違う過ごし方や価値観の発見があったようです。木谷さんからは、たまに他の仲間と思うようにいかないこともあるようですが、「みんなと一緒に楽しく、ホームでくらしたい」とのこと。大勢の前で緊張しながらも、元気に共同生活での思いを伝えることができました。



おどり

### 「ロックソーラン」が復活

西部事業部  
佐藤 健太郎

いぶきの歴史に「ロックソーラン」は外せない大切なものです。仲間のみんなも待ちわびたこの時を迎えました。日々、仕事をしながら時間を合わせ集まって練習してきました。コロナ禍の4年間は集うことができませんでしたが、踊ってなくても多くの仲間が覚えていて、体に染み付いている凄さがありました。練習から、生き生きと、キラキラとした目で、体ではなく心で踊っているんだと一人ひとりが輝いていました。体一杯踊って、胸いっぱい声出して「これぞ!いぶき!」であったのではないか。



## 01 いぶきファミリー会員(個人・法人)募集と、更新のおねがい

寄付や会費がいぶきの推進力になります。

いぶきの活動を継続的に応援していただけませんか?

寄付・遺贈寄付のご相談は、  
いぶき福祉会まで 058-233-7445

種類	応援の力タチ	お届け	お申込み方法
個人	共感やアクションで応援 (会費はいただけません)	会報誌	お申込みは こちらから⇒ (登録フォーム) 
	月250円(年3,000円)	会報誌・年次報告書	①月払いは こちらから⇒ (えんがわマルシェ) 
	月500円(年6,000円)		②年払いをご希望の方はご 一報ください。(郵便振替・ 銀行口座引き落とし)
法人	月1,000円(年12,000円)	会報誌	
	月3,000円(年36,000円)	年次報告書	
	月5,000円(年60,000円)	オリジナル商品	
	月10,000円(年120,000円)		

税額控除対象法人です

社会福祉法人いぶき福祉会は2023年3月16日に税額控除対象法人になりました。これにともない、同日以降のいぶき福祉会へのご寄付(いぶきファミリー会費も寄付と同様の扱いとなります)は、税制上の優遇措置として、所得控除と税額控除を選択できるようになります。なお、控除を受けるためには確定申告が必要です。所得などご本人の状況により異なりますので、詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせください。

## 02 新ショップ「ほとり」オープンしました!

法人設立30周年の記念日7月8日に無事オープンしました。

クラウドファンディングなど、たくさんの方に応援いただいたお店には再開を喜んでいただける方や、はじめての方との出会いがあり、顔を合わせることの喜びを感じながら楽しくスタートしています。日替わりメニューのみたらし団子やかき氷などのテイクアウトも人気で、ゆったりとお過ごしいただけます。ぜひお立ち寄りください。

○営業日:木曜日、金曜日、不定期の土曜日(SNSなどで発信)

○営業時間:11:00~17:00 (テイクアウトは16:00まで)

○住所:〒502-0933岐阜市日光町3丁目47-1

○ご予約やお問合せ先:058-233-7445 (寺田・山本)



インスタで最新情報を  
チェックしてね!



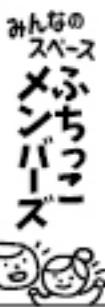
## 03 ガバメントクラウドファンディングの募集は行いません

例年、岐阜市のふるさと納税制度を活用して、社会課題を解決する寄付募集をしておりましたが、今年度は実施しておりません。いつもご支援いただき誠にありがとうございます。岐阜市のふるさと納税の返礼品に、いぶき福祉会の商品をお運びいただく取り組みは行っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。



## 寄付御礼 いぶきファミリー会費を含みます

伊藤明美、井口悦子、井上恭子、井上浩美、井上七月、井川ますみ、井川好子、井川笑子、井藤京子、井奈波純子、稻生政子、稻田千佳、碓井美枝子、白井里奈、浦川裕水、永井義彦、永井有紀、永田孝義、永田晃大、永田浩高、永田秀香、永田拓、永田寧子、永田美喜子、永末孝子、永野満美、猿渡瑞美、遠山倫子、遠藤久志、塩谷誠、奥谷さと子、奥谷康子、奥田順子、奥田祐子、横光廣恵、横山さおり、横山光明、横山幸代、横山真穂、横山道江、横山文夫、横田浩紀、岡崎宏江、岡仁美、岡正宏、岡田まみ子、岡田百合香、岡田摩理、岡田優、岡部幸子、岡本益子、岡本智子、乙部理佳代、下野陽子、加藤悦子、加藤紀子、加藤義信、加藤景美、加藤恒男、加藤晶子、加藤晴美、加藤静夫、加藤千恵美、加藤津幸、加藤美砂子、加藤富代、加藤穂乃佳、加藤陽子、加藤亮太、加納優汰、加部雅之、可児恵里奈、夏目克彦、家田雅彦、河原洋之、河口郁美、河合潔、河合道枝、河合邦子、河出さとみ、河瀬真季、河村恵子、河野郁子、河野勝彦、河和由紀子、花輪ひとみ、海老根愛國、笠井きくみ、笠井公子、笠井里絵、笠井里美、柳井ユミ子、株式会社MIMAMORU、株式会社インタークスチャード、株式会社エコプラン林直美、株式会社エディケーション、株式会社ダスキン長良、株式会社ダンクソフト、株式会社ミツオ、株式会社ミユキデザイン、株式会社リビングデザイン、株式会社三陽商会、株式会社杉山製作所、株式会社相宮工務店代表取締役相宮貞雄、蒲江里子、蒲勇介、鎌田千夏、粥川なつ紀、粥川由美、粥川利加、関口優汰、丸山アヤ子、岸正法、岸智子、岩城志げ子、岩田綾夏、岩田佳久、岩田雅典、岩田年、岩田理映子、岩田玲子、岩本彩郡、岩本正淑、岩本美保子、龜井ひとみ、吉原真由美、吉川恭子、吉川信子、吉村正好、吉田ひろ子、吉田傑俊、吉田修一、吉田晋介、吉田千秋、吉田直紀、吉田直美、吉田友子、吉田有希、吉田理、吉田和子、吉迫圭三、久山めぐみ、宮下和也、宮崎良一、宮川光子、宮川司、宮尾ゆかり、宮本久美子、宮脇日出夫、宮脇理紗、宮崎亜希子、汲田三洋、牛丸基樹、橋場恵、玉井豊、玉井夕子、玉田久美子、玉木多津子、玉木理香、玉木真晴、近松美智代、近松明実、近松壽美代、近石社登、近藤優紀、金山智子、金子彰子、金子智孝、金神恵里香、金村敬子、熊谷彰子、熊田朋恵、桑原愛子、桑原和希、桂川裕見子、兼松ゆかり、兼松博之、兼松由美子、犬飼尚子、原知子、原哲治、原田英明、原美智子、原和人、古市正敏、古田タズ子、古田マキ、古田吉次、古田菜穂子、古田定男、古田洋右、古澤由加里、戸原一男、戸崎のぶよ、戸崎芳樹、戸松聰子、戸松利啓、戸上瑞紀、戸田智子、戸田洋子、五十川晶一、五十川則恵、五十嵐美那子、五島智利、後藤真妃、後藤千絵、後藤美香、後藤敏治、後藤久美子、工藤敬子、江夏大樹、江崎くるみ、江川七星、江崎浩子、溝口里恵、荒井通江、荒川正江、荒木幸枝、高井節子、高橋史朗、高橋真由美、高橋定行、高橋和也、高瀬加代子、高津延子、高木智恵、高木哲夫、高木香代子、高木明、高力千恵、高力裕也、合掌顯、合名会社山本佐太郎商店、黒川忍、今井清、今井典子、今井田淑子、今井明美、今村正子、今村真智、根村敏子、根本雅子、佐藤、佐藤春吉、佐藤進、佐藤美也子、佐藤由、佐瑠きよみ、佐野忠男、座馬惇子、齊藤順子、坂井宣博、坂口恵美、坂根庸恭、坂東美希、坂本恵子、坂野幸江、桜井ジョニー英輝、桜井みゆき、坂田トヨ子、三浦瑛梨、三浦千鶴、三鷹春生、三宅修平、三宅末広、三島加津子、三島弘美、三品寿子、山岡幸香、山下信子、山下美智子、山下悠、山下和晃、山元美由紀、山口安子、山口淳二、山口政巳、山腰美穂、山崎広光、山川華奈子、山川毅、山村順子、山中祥悟、山中真紀、山田すみ子、山田ひろみ、山田実、山田珠美、山田慎二、山田真哉、山田泰久、山田博子、山田雄三、山田要、山田良和、山登教子、山本昇平、山本伸子、山本舞、山本邦夫、山本友美、山本理恵、市川雅美、市田宗大、市田美佐子、志垣誠一、寺田昌代、寺田理恵、寺島真希、寺澤久美子、寺澤眞実、鹿野妙、宍戸路佳、篠原貴史、篠原進一、篠田幸雄、篠田知美、柴聖子、柴田ますみ、柴田照恵、柴田真奈美、柴田節郎、柴田壮市朗、芝田宏和、種田真希、酒井光男、酒井宏美、酒井幸子、酒井真喜子、酒井誠、出口まゆみ、初瀬尾久美子、所直好、勝田純子、勝又恵里子、勝野ほづみ、小栗公子、小荒井尚子、小坂明美、小山正美、小森のぶ、小森美佐子、小森友穂、小川久美子、小川慶三、小川志穂、小川昭彦、小川信江、小川齊、小川泰子、小田弘美、小島玲子、小茂鳥さち子、小木曾千賀代、小野寺洋子、小林貴誓勝、小澤倫正、松井君子、松永亞希子、松元義博、松元光子、松原達二、松原蒼樹、松原志保、松原真由美、松原陽子、松原和枝、松崎やよい、松崎泉、松田賢治、松田洋子、松尾あさ子、松尾幸恵、松尾和枝、松本亮久、松野小織、上月優子、上松史明、上松豊子、上松未歩、上杉公志、上田時子、上野千春、上野恵美、上良静香、上林早紀、森下静香、森下美加、森久江、森昭男、森弘子、森山めぐみ、森山寿、森真紀、森智之、森田圭子、森田早苗、森美代子、森武良、森邦翁、森本結衣、森本雄太、森洋三、森利江、深尾みなこ、神吉理枝、神谷はるみ、神谷喜久枝、神田よう子、神田富雄、須藤愛子、須藤保、水上一、水島良岳、水野千枝子、水野邦彦、杉原大貴、杉山栄、杉山春美、杉村有子、杉本政也、杉本多加子、杉本隆夫、菅沼暁子、菅沼桃香、瀬川航岸、是枝明子、星場真希、星場智、星野信子、正木トモ子、清水恵、生活協同組合コープぎふ、西浦育子、西村智子、西尾美智子、西部住民恵、西部治市、西部節子、西部奈美、西脇公子、西脇美智代、西脇里美、西澤佳代子、西澤夕里子、青木英博、青木優典、齊田昌二、石井潤、石橋美枝子、石原伸夫、石原大輔、石黒厚、石川美保、石谷鉢、石田まみ、石田和久、石博恵美子、赤松徳子、赤星多恵子、赤塚俊彦、雪齋、川口亞稀子、川口聰、川口友美、川出早苗、川上宏二、川瀬雅信、川瀬悟、川瀬洋子、川村久子、川端克彦、川中博之、川添公貴、川島登美子、川島和男、川嶋容子、浅井彰子、浅井昭士郎、浅井和枝、浅川百合子、浅川有子、浅野京子、浅野勝己、浅野博子、浅野由起、浅野裕美、浅野理恵、船戸由香、前川久美子、前川朝子、前川東洋男、前川和子、前野悦子、畠中庸子、曾我部光、倉うめ子、倉品みや子、早川幸二、早川正美、早野幸広、早矢仕昌明、相宮はつみ、増田雅美、増田陽一、藏野進、村井純司、村原千江見、村松昭夫、村瀬琴未、村瀬宏規、村地晴代、太田芳彦、大橋香澄、大橋進香、大橋美布由、大橋保、大橋由美子、大森美歩、大西トシ、大西啓勝、大竹光子、大塚みさ子、大塚千代子、大島直樹、大洞美子、大堀愛子、大野秀子、大野千加子、大野典子、大野文子、大脇啓子、滝健司、瀧川京子、沢木まりえ、棚橋賢治、棚橋賢二、谷口京子、谷村祐樹、丹羽くに子、丹羽久美子、丹治克行、丹度はま子、池見ヤス子、池戸建太、池田光巳、池田庸子、竹原幸夫、竹原龍太、竹山拓、竹森正孝、竹地俊貴、竹地小百合、竹地裕司、竹中均、竹中慶子、竹中智子、竹田陽介、竹内エツ子、竹内久人、竹内俊文、竹内祐介、竹内洋子、竹内陽子、竹林麻紀、筑井礼子、中原力哉、中山一樹、中山宏二郎、中山設備株式会社、中山了、中植迪夫、中川桐子、中川真代、中村郁子、中村一恵、中村英吾、中村千恵美、中島健治、中島建二、中島香、中島守、中島由生、中島由美子、中嶋佳子、中尾恵美子、中浜圭子、中野一宏、中里香苗、中澤留衣、中嶋純子、仲浦光徳、仲谷俊之、朝田章子、町野寛子、長井由利、長屋昌子、長屋陽子、長屋利信、長村和昭、長谷川美恵、長谷川友紀、長谷川裕、長野宏子、



みんなの  
スペース  
メブ  
ンチ  
バッ  
ース  
増えて  
たれ  
40  
め  
に一  
氣に  
庭に  
ます。  
ダメ  
が耐  
い始  
めたら  
10  
だい  
よ。今  
はど  
うや  
みじ  
んこ  
も育  
て大  
所持  
です。  
うら  
しく  
が  
ふ  
き近  
JAPAN  
岐阜市  
大会に  
参加して  
会員の  
交流を  
深めました。  
ともに汗を  
ぬることは  
いいです  
ね。秋  
の季節  
になりました。秋  
とい  
は  
ボーリ  
ツの秋